

学校と地域をむすぶ

大津市立葛川小・中学校

# かけはし

地域コーディネーターだより

2016. 2. 4

NO. 6

## KTふれあいの輪

1月14日、葛川市民センターにおいて、「KTふれあいの輪」が行われました。自分たちの住む地域、葛川（KaTsuragawa）と久多（KuTa）のKとTをとって名付けられた「KTふれあいの輪」も今年で3年目を迎えました。地域のことをとりあげたテーマにそった懇話会や、皆様に食べてもらう昼食作りを通じて、地域の方々とふれあいを深めることができるような会になるように、中学校の生徒会を中心に計画や準備をしてきました。小学校5・6年生と中学生は今年度学習してきたことの中から一つのテーマにしぼり、学んだことを発表しました。小学校1～4年生は、健康推進協議会の方々に教えていただきながら、昼食作りに取り組みました。

お忙しい中、学習発表会を聞いてくださり、懇話会で活発なご意見を出していただいた地域の皆様方、朝早くから料理作りのご指導をいただいた健康推進協議会の方々に、そして、会場の準備等でお世話になった葛川市民センターの皆様方、ありがとうございました。

## ぜ・カレー大好評

今年の昼食はみんなの大好きな「カレー」。健康推進協議会の方々に教えていただき、小学校1～4年生がカレー作りに取り組みました。今年、地域の一人としてこの「KTふれあいの輪」に主体的に参加させたいという思いから、食事作りの最初から最後までを子どもたちが行うことになりました。事前に、健康推進

協議会の方々といっしょに事前学習会を持ち、カレー作りの手順を考えたりポイントを教えていただいたりしました。

身支度をすませると、さっそく料理に取りかかります。お米をとぐ。大きな炊飯器のかまに入ったお米をとぐのには力がいらいます。水も冷たい。お家でお米をとぐのとはずいぶん違います。



野菜を洗って皮をむいたり、切ったりします。玉ねぎの皮をむいているだけで涙が出てきます。さらにそれを切っていると、あまりにも量が多くて、「目がいたい～」と涙を流す子どもたち。「じゃがいもの皮むきはまかせていいかな」「できるよ」ピーラーを使ってじゃがいもの皮むき。皮が残らないようにていねいにむいていきます。「まず、半分に切って・・・。これぐらいの厚さに切るよ」と教え





そのうち、炊飯器からご飯の炊けるにおいがしてきて、完成の時が近づいてきました。今度はお皿の準備です。一枚、一枚きれいにふいていきます。さあ、二階の会場はもうすぐ発表会が終了です。

てらったように人参を切ります。大量のお肉と野菜を油でいため、いよいよ煮込み開始。ぐつぐつ煮えているお鍋のふたをそっと開けてみると、「いいにおい〜」。灰汁取りも教えてもらいました。



配膳のスタンバイ OK。お皿にご飯をよそい、カレーのルーをかけます。とてもおいしそうです。開会式の時に、「今日のメニューはカレーです」とメニューの紹介をした1~4年生。「カレーができました。名前は『ぜ・カレー』です。」「全員で食べたい」「ぜっぴん」「ぜったいおいしい」そんな思いをこめて子ども



たちが名づけました。二階の会場の地域の皆様方、中学生、小学校高学年の人たちにも好評で、おかわりをしてくれた人たちもたくさんいました。小学校1~4年生は、健康推進協議会の方々といっしょにカレーをいただきました。いろいろなお話をしながら、自分たちの作った「ぜ・カレー」を味わいます。「おいし



い！」。自分たちが皮むきから頑張ったカレーは、ほんと「絶品！」でした。二階の会場の人たちに聞きに行きました。「みなさん、カレーはどうでしたか?」「おいしかったよ〜」という声がたくさんかえってきました。

これで終わりではありません。今度は、後片付け。大量のお皿を洗います。最後までしっかりできました。陶器のお皿を使ったので、80食分のカレーを作ったにもかかわらず、とてもゴミが少なかったのがよかったです。



健康推進協議会の方々と楽しくふれあいながら、手順よくたくさんの仕事をやり終えて、たくさんの人から「おいしい」という声をかけてもらい、子どもたちは大満足。子どもたちにたくさんの仕事をまかせていただきながらも、やり方やコツをやさしく教えていただいた健康推進協議会の方々、ありがとうございました。

## 学んだことを伝えたい

午前中、地域の方々を前に、小学校5・6年生、中学生が学習したことを発表しました。

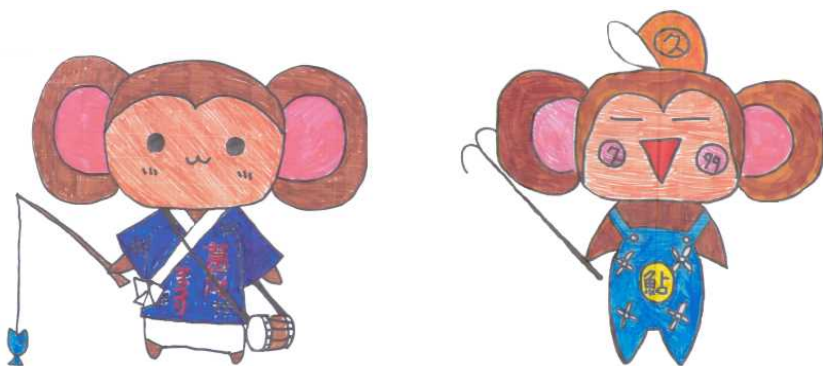
小学校5・6年生は、秋に行った修学旅行で学んだことを発表しました。広島の平和記念公園や原爆資料館、そして毒ガスが作られていたという大久野島で見たり聞いたりしたこと。この学習を通して、「戦争があらためておそろしいものだとわかった」「こんなにこわいものだとは知らなかった」「戦争をおこさないようにできることをしたい」「国と国とが仲良くしなければならない」「戦争はあってはいけないもの」「戦争はやったらだめ」という感想を持つことができました。

中学1年生は、防災についての発表。昨年度の「KTふれあいの輪」の懇話会を受けて作られた「防災マップ」をもとに、実際に自分たちの目で確かめて歩き学んだことを映像にまとめました。防災に対する意識も高まりました。

中学2年生の発表は、秋に行われた「職場体験学習」。3人は堅田のパン屋さん、ペットショップ、ケーキ工房でそれぞれ5日間体験をしました。「そうじばかりで大変だったが犬やねこのお世話をして楽しかった」「一日目は緊張してあいさつもできなかったが、二日目からはできるようになった」「一日目は知らない人の中で仕事をして緊張したが、貴重な体験ができた」という感想を持ちました。実際に職場に入って仕事してみると、想像していた以上にたくさん見えない仕事があることを知ったり、それをこなすだけでなく、人と人との関わりの大切さを感じることができたようです。

そして、中学3年生は、「ゆるキャラ看板ができるまで」の取り組みを発表しました。一昨年の「KTふれあいの輪」の懇話会をもとに昨年誕生した『かつぎる』『くたぎる』の「ゆるキャラ」。この「ゆるキャラ」をたくさんの人に知ってもらうために、今年は「ゆるキャラ看板」作りに中学生全員で取り組みました。

『かつぎる』のさげているポシェットの中には、太鼓廻しのお祭りの時に歩いて来られるお坊さんからもらった飴やキャラメルが入っています。『くたぎる』の着ているサロペットには菊の模様が入っていて、菊は久多でたくさん作られています。」など、それぞれのさるの特徴も再度確認できました。



夏休みに時間をかけて作られた大きな看板は、今、葛川と久多に設置されています。「ゆるキャラ」は今やいろいろなところで目に触れるようになってきました。これも「KTふれあいの輪」の継続した取り組みの一つであると思います。

## 思いや考え出し合って

午後の二階の会場は「懇話会」です。地域の方々と中学生、小学校5・6年生がグループごとにテーマにそって話し合いを持ちました。今年のテーマは、「地域の知名度をどのように上げるか話し合おう」でした。葛川で3グループ、久多で



1グループを作り、中学生がリーダーとなり、話し合いを進めていきました。

まずは地域の良いところを出し合いました。やはり、葛川や久多ならではの、自然のすばらしさや歴史や伝統に関わる内容がたくさん出されました。そして、この良さをもとに、「知名度を上げるためにできること」を考えてみました。

- \*「葛川」「久多」という名前を知ってもらう
- \*ここにしかないものをアピールする
- \*自分たちが地域を知る

グループの中では、大人も子どもも自由に自分の思いや考えを出していました。「葛川」「久多」という名前やどこにあるのかも知らない人が多い中、どのようにしたら知ってもらえるのだろうか？他の地域にはないようなすばらしいことをアピールするためにできることは何なのだろうか？



話は具体化され、話が盛り上がっていきます。あっという間に時間は過ぎて、それぞれのグループで話し合った内容を交流しました。



3年目の「KTふれあいの輪」を終えて、改めて地域の方々との交流のすばらしさを感じました。そして懇話会においてたくさんの意見を出し合うことができたことが、今後の取り組みにつながっていくのだとも思いました。この「KTふれあいの輪」から生まれた「ゆるキャラ」や「防災マップ」は、その時だけのものに終わらず、どんどん進化していています。今後は、地域の知名度を上げるために具体的な取り組みが始まることかと思いますが、大人も子どもも同じ地域の住民としてこの地域の将来を考え前向きに取り組んでいくことができることを願っています。

- \*看板・ポスターにゆるキャラを載せて観光客にアピールする
- \*体験的イベントを開く
- \*自然の家に来た人にパンフレットを配ったりDVDを見てもらったりする
- \*地元の子どもが自然の家のイベントに参加し、歩く広告塔になる
- \*ホームページを作る
- \*パンフレットを作る（自然や行事などいいところをすべて写真を入れて盛り込む）
- \*テレビや新聞に取り上げてもらう

など、具体的方策がたくさん出されました。

これらをもとに、今後、中学校生徒会が中心となり、自分たちにできることを考えて取り組んでいくことに期待します。過去2年間、懇話会で話し合われたことをもとに、「ゆるキャラ」や「防災マップ」が作られました。地域の方々の熱のこもったご意見が、生徒たちの取り組む気持ちの後押しとなっているのではないのでしょうか。